

会員卓話

19 明るいニュース / 長嶋 明彦 会員

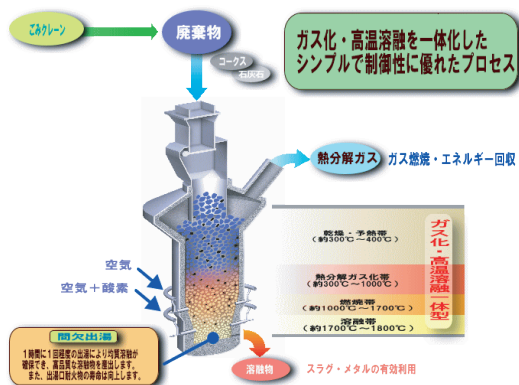


3回目の卓話となります。今まで環境についてお話をさせていただき、これからどうなってしまうのかという内容でした。今回は明るいニュースがありましたので、そのお話をさせていただきます。

一番最初の卓話で「最終的な処分地の埋め立てキャパシティは5年位で埋まる。」という話があったのですが、技術が向上し15年程になったという事があります。

今までは焼却し灰にして、生コンの原料として埋め立ての量を減らしていま

しました。最近になって「シャフト炉式ガス化溶融炉」が登場しました。原理は「溶鉱炉」の技術で、800℃位で処理していたのが、1600℃の温度にすることにより、生コンの原料にもできたり、舗装の原料にも活用できたりと利用価値が高くなりました。これにより、来年度には日本中の埋め立て地が埋まるということが、15年延びたという明るいニュースです。



※図:HPより引用

20 絵画・版画について / 田島 潤一 会員



弊社では絵画のレンタルをやっており、あまり儲かりませんが、損もしないという状況です。「リトグラフ」のレンタルをやっておりますが、絵について基礎的なお話をさせていただきます。最初はヨーロッパの絵画のリトグラフを中心に始めました。ヨーロッパ絵画の技法が基本的には「油彩画」でありました。油彩画とは麻とか木綿をキャンバスにして、直接描く手法です。テンペラ画というのは宗教画によく使われました。フレスコ画というのは、ヨーロッパの寺院などの天井に描かれたり壁に描かれた物を指します。

版画について少し詳しくお話させていただきます。

版画は印刷に行く紙以外、彫刻や細工を施した版を作って、インクの転写・透写等によって複数の絵画を制作する技法という事です。その中に、「凸版画」「凹版画」「平板画」「孔板画」の4つがあります。昔イモに掘ってやったのが凸版画です。リトグラフに対して、シルクスクリーンがあります。

版画の決まり事です。刷り上がった版画には作家が直接一枚一枚にサインを入れます。これは鉛筆で書くのですが、鉛筆はその人の筆圧が表現されるので、鑑定に使えるようです。



委員会報告

- 社会奉仕委員会 (川村一紀委員長)
砂漠緑化推進協賛/5万円の寄付
- 国際奉仕委員会 (糠谷委員長)
バーンロムサイに20万円/スマイルBOX
- 親睦委員会 (井尻委員長)
4/4 浮月楼にて観桜会 (家族同伴)

出席報告..... 宮崎副委員長

	月/日	総会員数	出席者 合計	会員欠席	出席率	メイク アップ	確 定 出席率
前々回	2/14	45名	36名	4名	—	(1名)	92.5%
前 回	2/21	45名	36名	4名	90.0%	(2名)	—
本 日	2/28	45名	35名	6名	85.3%	(名)	—